



# きした敬 木下げいじ 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 被害額は年々増加の一途



本会議場に登壇し、一般質問に臨む木下県議

木下議員 報

道によると、「特殊詐欺」は、親族や警察官を装う「オレオレ詐欺」や、税金や医療費などが戻るとだます「還付金詐欺」、架空の株取引や社債購入の代金を支払わせる「金融商品取引名目の詐欺」など8種類の手口の総称だそうです。「オレオレ」「還付金」など4種は「振り込め詐欺」に分類されるとあります。

特に、高齢者が老後の生活のために一生懸命働いて貯蓄したお金を、一瞬のうちに奪い取られ、その後の生活に困窮しているとの報道を耳にすると、胸が痛くなるのは私だけではないと思います。

このような悪質な犯罪を防止するためには、私たち自身が留守番電話を設置して、不審な電話は受けないなどの対策も必要と考えます。

そこで伺います。1点目として、平成25年中の県内における特殊詐欺の被害状況と過去3年間の推移及び最近の特徴について教えてください。

警察本部長 特殊詐欺による被害は、平成23年は772件、約13億6400万円、平成24年は730件、約22億5500万円、平成25年は839件、約31億8900万円であり、認知件数は高水準で発生し、被害額は年々大幅に増加している状況です。

最近の特徴としては、1件当たりの被害が高額な「現金受け取り型のオレオレ詐欺」や「金融商品の取引を装った詐欺」が大幅に増加している点が挙げられます。

### 千葉県警の取り組み

木下議員 千葉県警として、特殊詐欺を防止するため、どのような取り組みを行っているのか。

警察本部長 警察では、特殊詐欺の取り締まりと合わせ、その被害を防止するため、巡回連絡等を通じた防犯指導や高齢者が参加する会合等において、防犯講話を実施するなど、警察官が直接、高齢者に対して注意を呼びかける取り組みを行っています。

また、県警が業務委託した事業者から電話で注意を呼びかける「振り込め詐欺・悪質商法被害抑止コールセンター」の運用や、金融機関に対して高齢者の高額現金引き出しに対する声かけ強化を働きかけているほか、通信事業者と覚書を交わして迷惑電話防止サービスの実証実験を実施するなど、関係機関・団体等と連携した諸対策を推進しております。

### 被害に遭わない対策

木下議員 県民が被害に遭わないためには、どのように対処したらよいのか。

警察本部長 最近の特殊詐欺の手口から、被害に遭わないために県民の皆さんに心がけて頂きたいことは、

- 息子や孫を名乗り、「電話番号が変わった」「小切手の入ったカバンをなくした」などという電話はオレオレ詐欺を疑い、息子さんやお孫さんの元々の電話番号にかけて確認すること
- 市役所の職員を名乗り、「医療費の還付金があるの

「医療費の還付金があるの」でATMで手続きが必要などの電話は、還付金詐欺の手口であり、直ちに警察へ通報することなどが挙げられます。

特殊詐欺の大半は電話によるものであることから、議員ご指摘の留守番電話を設置し、直接電話に出ないことも有効な対策と考えます。

**要望** 県警の絶大なる尽力により、特殊詐欺の被害者を一人でも少なくするようお願いいたします。

## 「オレオレ」などの特殊詐欺

●千葉県や南房総市・安房郡へのご要望をお気軽にお寄せください……

**木下げいじ 県事務所**

〒295-0005 南房総市千倉町牧田164-1  
TEL.0470 (44) 4111  
FAX.0470 (44) 4112

●木下げいじ公式ホームページ=<http://kishitakeiji.com/> ●Eメール=[info@kishitakeiji.com](mailto:info@kishitakeiji.com)

# 特別支援学級の専門性向上を!

# 複式学級の解消を求めて



予算委員会で質問する木下県議

## 教職員の配置

木下議員 特別支援に係る専門性の高い教職員の配置について伺います。はじめに、県における特別支援学級の障害種別設置数と児童生徒数の状況はどうか。

教職員課長 平成25年5月1日現在、小中学校における特別支援学級の障害別学級数と児童生徒数は、知的が1046学級で4534人、自閉症・情緒が736学級で2567人、言語が106学級で683人、難聴が20学級で71人、病弱・虚弱が7学級で13人、弱視が1学級で2人となっています。

木下委員 障害種別の学

級における教職員の経験年数の状況はどうか。

教職員課長 本年度、小中学校において、特別支援学級担任の担任経験年数の平均は、学級数の多い知的学級が8・8年、自閉症・情緒学級で8・2年などですが、全体の3割程度が3年以下の担任経験者となっています。

## 教員の専門性

木下議員 特別支援学級の経験年数の少ない教員の専門性を高めるために、どのような対応をしているのか。

教職員課長 新任の特別支援学級担任に対する研修をはじめとする各種研修を実施するほか、免許法認定講習

の機会を提供し、特別支援学校教諭免許状の取得を促進しています。

また、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターや各教育事務所の指導主事が学校を訪問し、児童生徒一人ひとりの障害に応じた支援のあり方等について指導・助言を行っています。

木下委員 専門性を高めるために行った対応による成果はどうか。

特別支援教育課長 新任の特別支援学級担任に対する研修受講者の感想には、「さまざまな支援の工夫を学ぶことができて、大変勉強になった。実際に自分の実践に生かしている」「学んだことを、いろいろと自分の学級経営や実践に取り入れている」などがあり、研修内容が指導・支援の改善に役立っていることが伺えます。

## 複式学級

木下議員 少子化が進み、過疎地域では学校統合を余儀なくされています。安房地区でも、学級人数や学校規模の適正化を図るべく、各市町で小中学校の統合が進んでいます。

しかし、一朝一夕で行われるわけではなく、統合に至るまでの間に数年を要する場合もあります。そのような中、平成25年度、安房管内では小学校34校のうち6校、9学級が標準学級数における複式学級となっています。そこで、今年度県全体で小中学校別の複式学級における標準学級、実学級数はどのようになっているのか。

教職員課長 今年度、本来ならば複式学級となる、いわゆる標準学級数は、県全体で小学校が54校78学級であり、中学校はありません。

その中で、配置された教員を活用し、複式学級を解消している学級を除くと、実際に開設している実学級数は、26校35学級となっています。

木下委員 複式学級はどの地域で多くあるのか。教職員課長 今年度、複式学級35の実学級のうち、

多い地域は、南房総教育事務所管内が14、北総教育事務所管内が10、東上総教育事務所管内が7などとなっています。

木下委員 教わる側である子供たちにとってのメリット・デメリットは何であると考えているのか。

指導課長 教わる側においては、日常的に異年齢の学年と交流できる半面、互いの意見や考え方を話し合う学びの機会や、子供同士で切磋琢磨する機会が少なくなりやすいと考えられます。

## 防犯カメラ設置要望

木下委員 千葉県はひたたくり防止対策として、ひたたくりが発生しにくい環境づくりを推進するため、市町村が行う防犯カメラ設置事業に対し、20万円を上限として2分の1を補助する制度を創設しました。

こうした中、南房総市の一部地域では不審火が多く発生しており、消防・警察・地域住民などの懸命な監視活動にも関わらず、その件数は減るどころかますます増加しており、地元の消防団員は皆、疲労の色が隠せない状況となっています。

防犯カメラは、路上犯罪の検挙のみならず、犯罪の予

### 要望

教育機会の不平等が生じないよう、教育の機会均等という原点に戻すの施策を期待します。教育的視点及び経済的視点の両面から、複式学級に対する教員の配置を強く要望します。

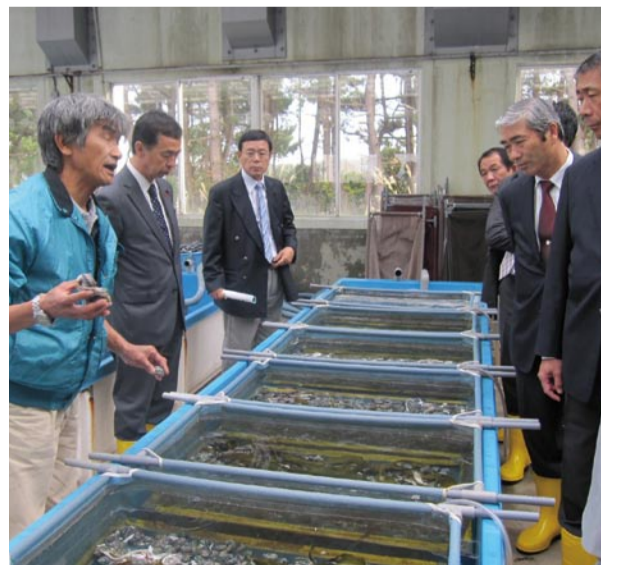
### 要望

26年度の実績をみてということですが、世の中は刻々と動いています。犯罪が少なくなっているという訳ではありません。

防にも大変有効です。平成26年度からは、補助対象事業をどの程度拡大するのか。生活・交通安全課長 平成26年度の補助制度は、これまでひたたくり犯罪に加えて、近時多発している自動車盗または車上狙いの発生を抑制することを目的としたものに拡大を予定しています。

木下議員 今後、補助対象事業の拡大をするつもりはあるのか。

環境生活部長 まずは平成26年度の補助事業を着実に進めてまいります。今後の補助対象の拡大は、平成26年度の運用と犯罪発生



青森県栽培漁業振興協会であワビの養殖について視察研修を行う木下県議(左から3人目)

特殊犯罪については、本会議で質問させていただいたが、犯罪はほとんど増えていません。また、対応できない犯罪がいくつも発生しています。県民のことを真摯に考えるならば、使い勝手の良い補助対象事業にすべきだと思えます。それがやさしい政治ではないでしょうか。

行政は誰のためにあるのか。千葉県は県民のためであります。基礎的自治体である市町村は、そこに住む人たちの住民福祉の向上のためにあると地方自治法に明確に謳っています。

そうしたことを考えても、使い勝手の良い補助事業にしたいだけというよう、重ねて要望します。

## 予算委員会質疑から